



緑化地域の指定に関する都市計画 市素案について

横 浜 市

本日の説明内容

- I 横浜市の緑の現状と取組
- II 緑化地域制度の概要
- III 都市計画市素案
- IV 緑化地域制度と既存条例の関係、
都市計画の手続き



Ⅰ 横浜市の緑の現状と取組

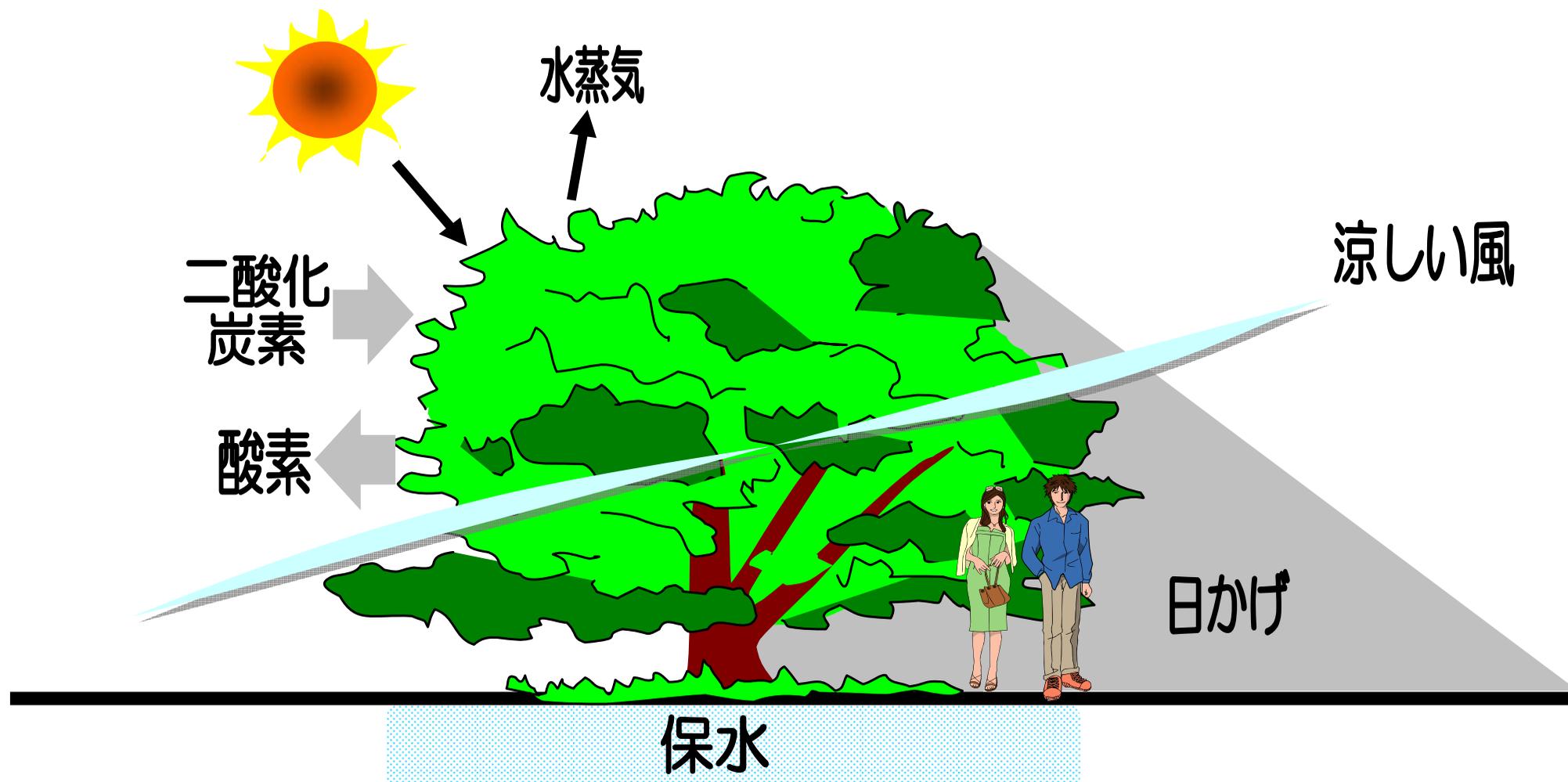


1 緑の機能

◎景観形成・レクリ
エーション機能

◎環境保全機能

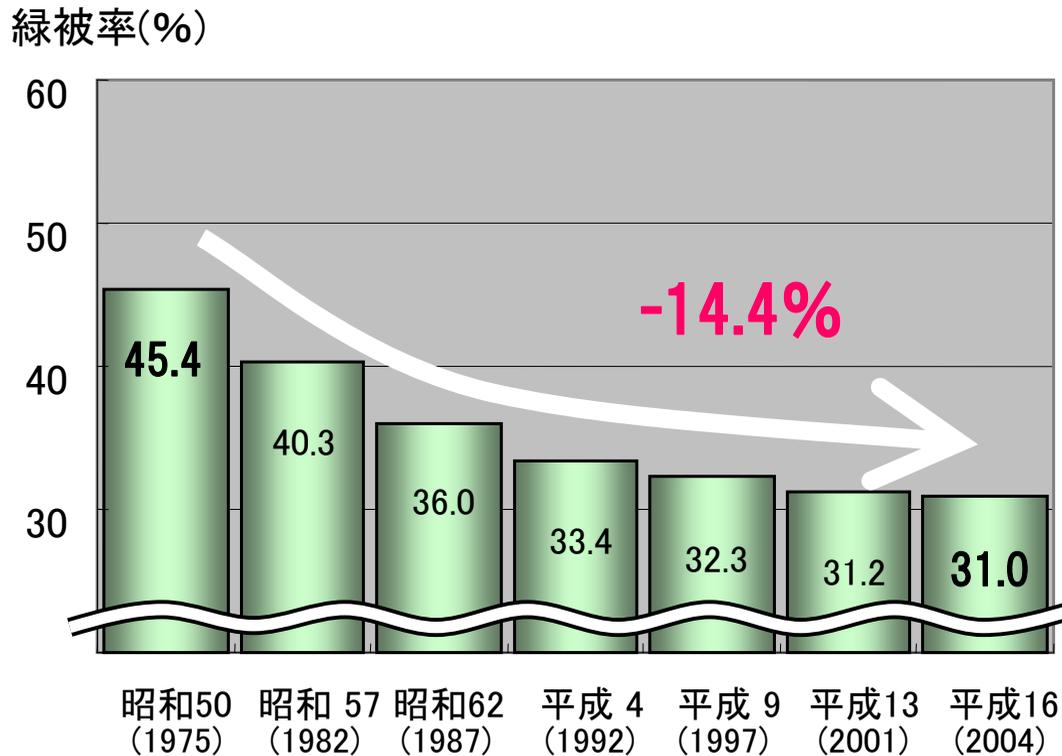
◎防災機能



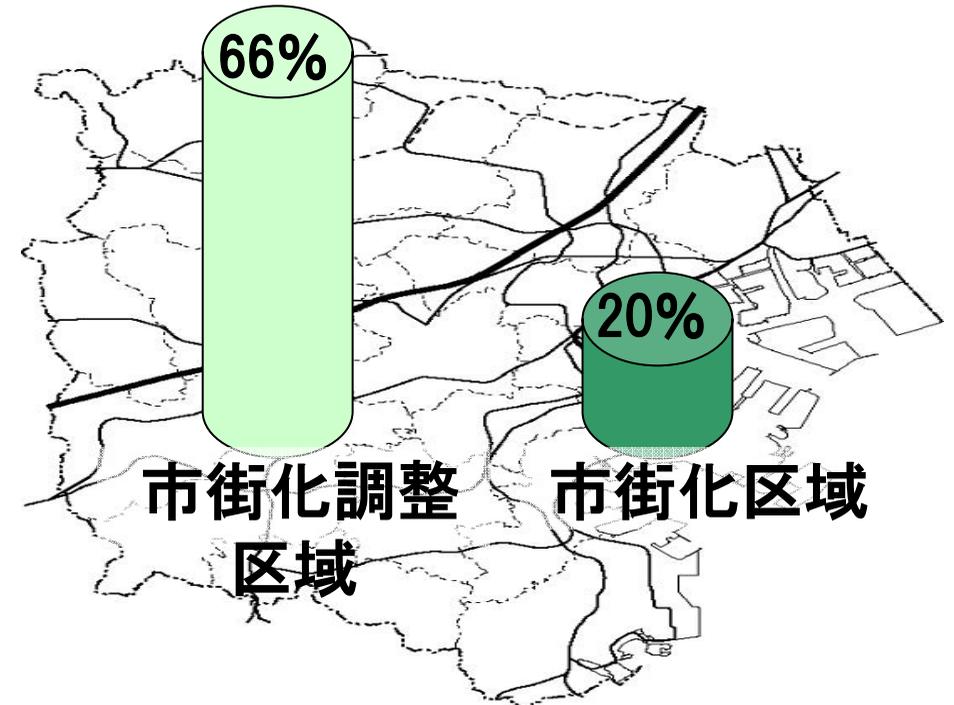
2 横浜市の緑の現状

都市化とともに、年々、市内の緑が減少

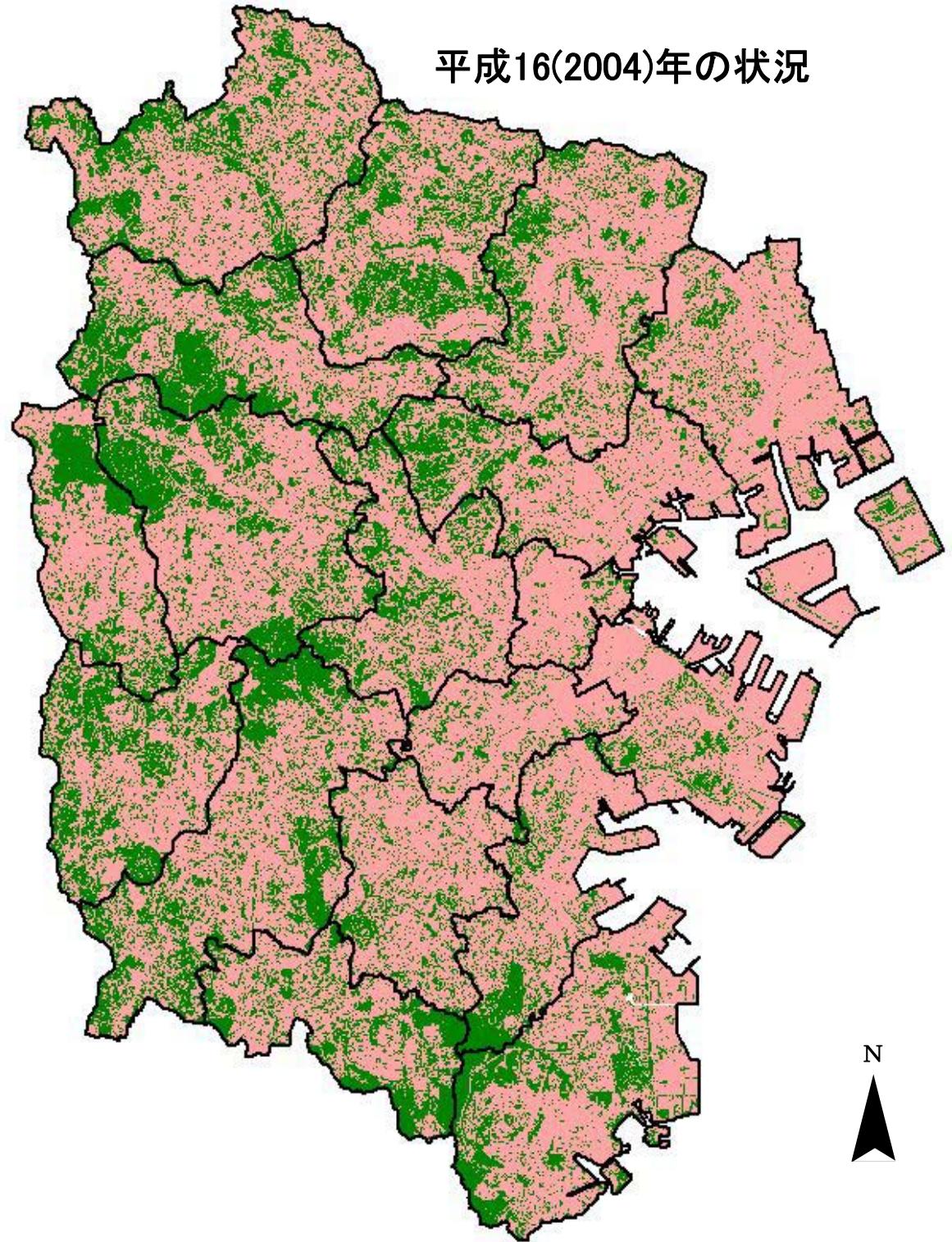
【横浜市の緑被率の推移】



【区域別の緑被率】

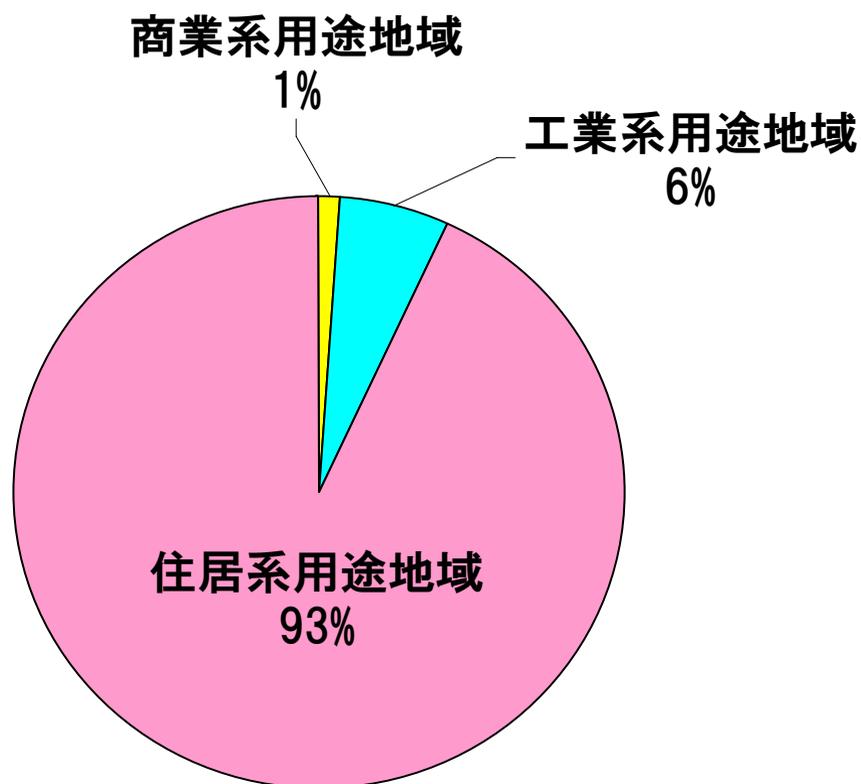


横浜市緑の状況

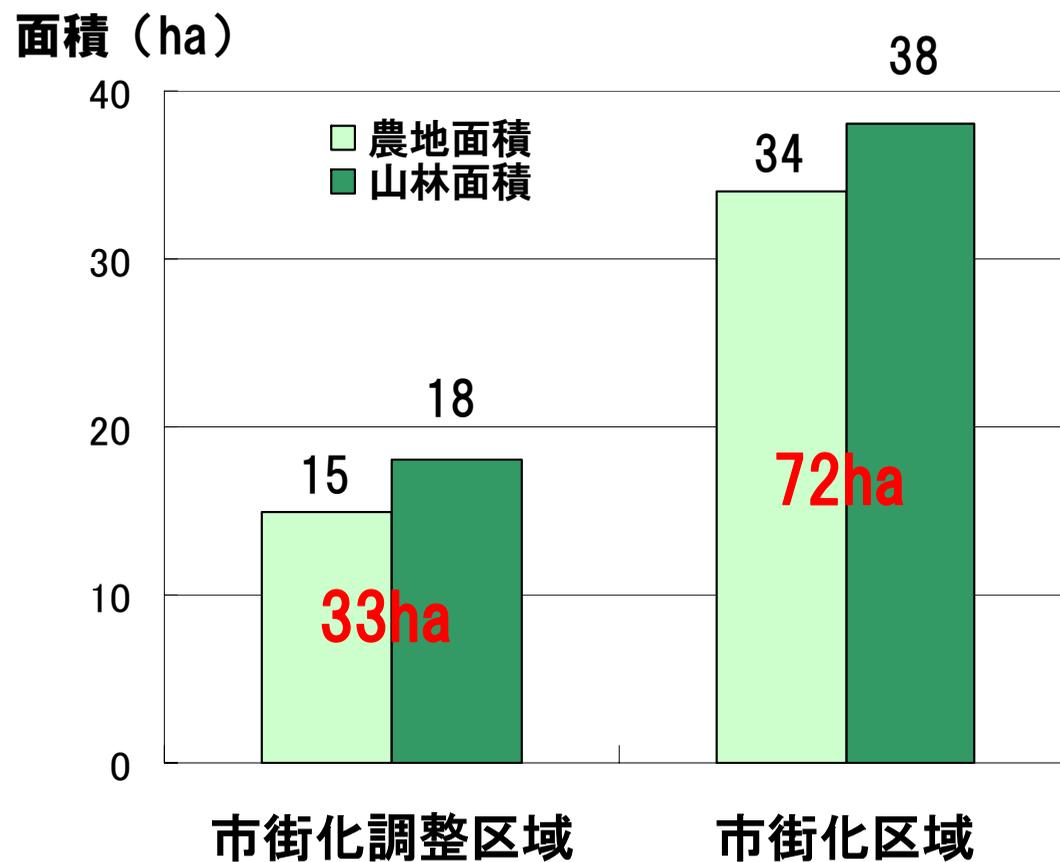


暮らしに身近な樹林地や農地が減少

【市街化区域の山林・農地分布】



【山林・農地の年間平均減少量】 (平成9年～平成16年)

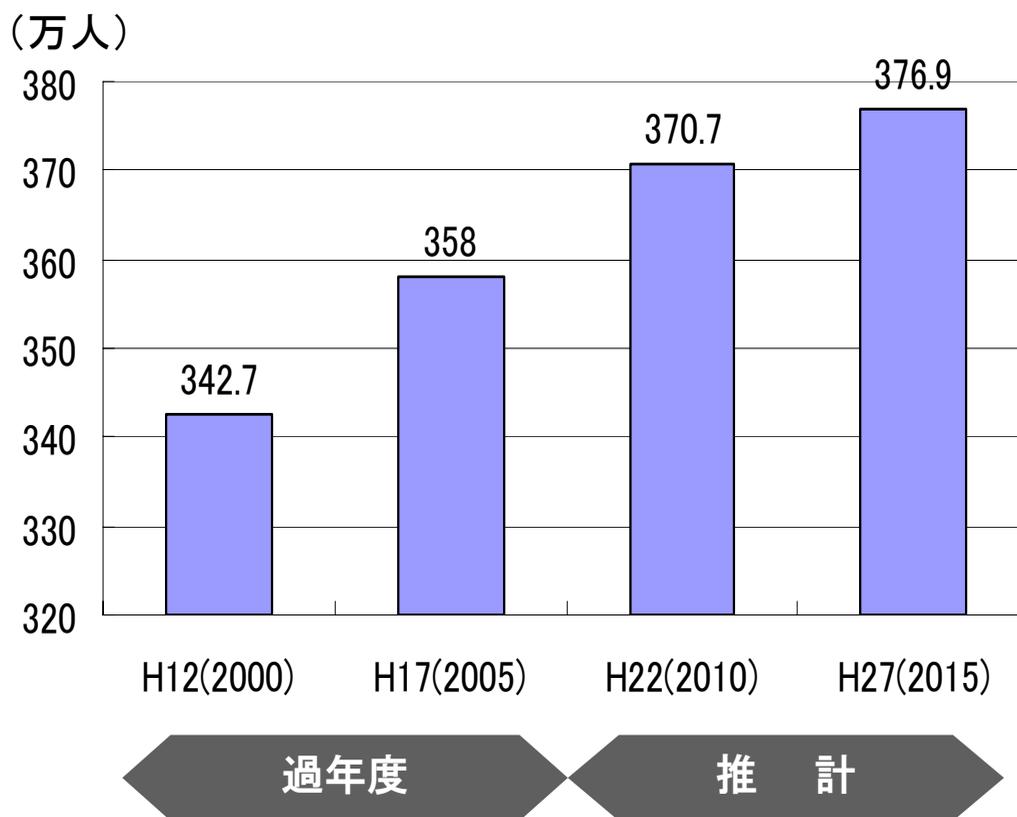


■ 今後も、宅地面積の増加が見込まれます

毎年約100ha
の増加！
(平成9年～平成16年平均)



【人口：過年度の推移・推計】



データ出典：横浜市中期計画

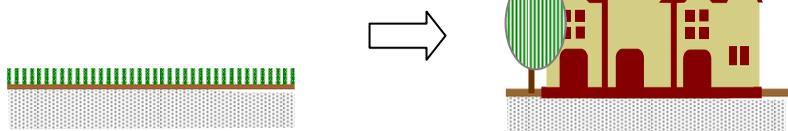
3 横浜市の緑化推進に関する取組

横浜市の緑化制度の概要

○昭和48年から、条例に基づき、工場や公共建築物の緑化、宅地造成の際の緑化について協議を実施。

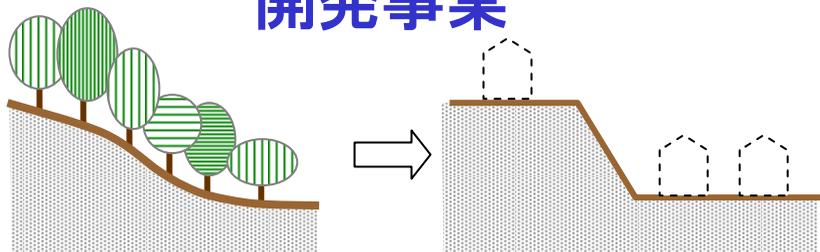
○平成16年に条例の制定・改正を行い、建築行為や開発事業における緑化について、協議等を実施。

建築行為



← 緑の環境をつくり育てる条例

開発事業



← 横浜市開発事業の調整等に関する条例

■「緑の環境をつくり育てる条例」における緑化制度

- 平成16年3月「緑の環境をつくり育てる条例」を改正。
- 建築物の緑化協議を定め、全市域において、敷地面積500㎡以上の建築物を建築する際に、建築物の敷地面積の規模や用途(工場等)に応じた緑化率により緑化協議を実施。



4 横浜市の緑に関する計画

「横浜市水と緑の基本計画」を平成18年12月に策定しました。

「横浜らしい水・緑環境の実現」を
目指す計画

目標年次： 平成37年(2025年)



「横浜みどりアップ計画」

緑被率（31％）の維持・向上

樹林地を守る

農地を守る

緑をつくる

緑化地域制度
の活用

横浜みどりアップ計画（平成18年～平成22年）

横浜市水と緑の基本計画（～平成37年）

都市緑地法の活用